

令和5年度協働型学校評価に関するアンケートの結果について（お知らせ）

雨水の候、保護者・地域の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動への御理解と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

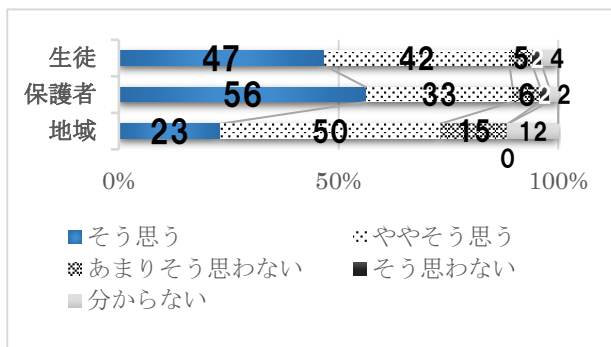
さて、本校では今年度協働型学校評価における到達目標及び重点目標を次のように定め、学校・家庭・地域の皆様と共に取り組んでまいりました。このたび、本取組に関するアンケートの結果がまとまりましたのでお知らせいたします。皆様から賜りました貴重な御意見を今後の学校運営に生かしてまいります。御協力ありがとうございました。

○到達目標：学校が楽しく、目標に向かってチャレンジする生徒の育成

○重点目標：地域の方々と明るく挨拶を交わす生徒の割合を75%以上にする

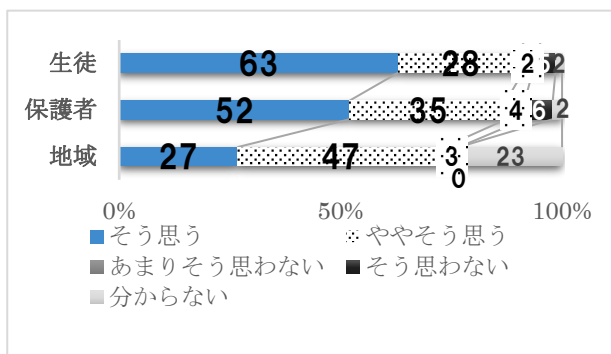
【アンケート結果】

◆質問1「地域の中で知っている人に会った時は挨拶をしている」



全体の84%（生徒89%、保護者89%、地域73%）で肯定的な回答が得られ、重点目標としていた75%を上回る結果でした。

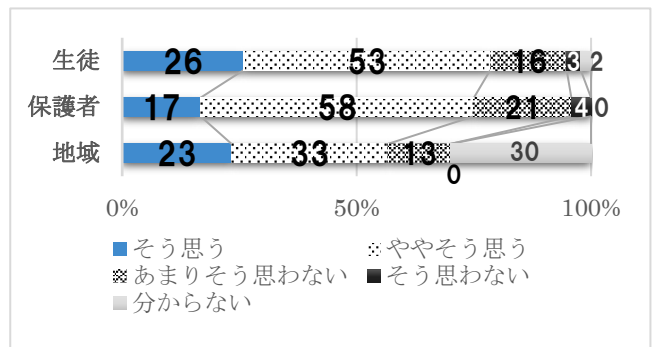
◆質問2「学校には楽しいと思える時間や居場所がある（お子様は学校に楽しく通っている）」



生徒及び保護者のおよそ90%で肯定的な回答が得られています。地域においても「分からない

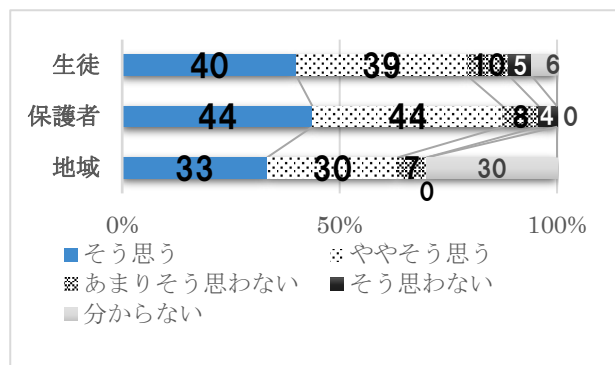
い」を除いた数を母数にした場合、肯定的な意見は90パーセントを超えています。

◆質問3「難しいことでも失敗を恐れずにチャレンジしている」



生徒及び保護者ではそれぞれ79%、75%で肯定的な回答が得られています。他の項目に比べて相対的にやや低めの数値となっています。

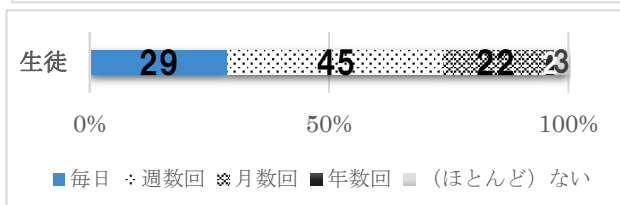
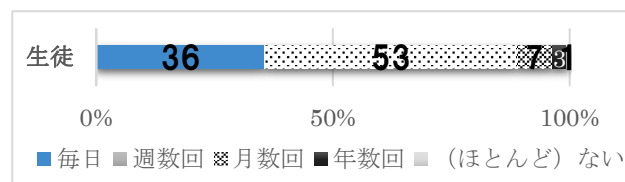
◆質問4「学校や地域で『助け合い』『認め合い』『励まし合い』を心掛けている」



生徒の 79%で肯定的な回答が得られています。また「折中を訪れたとき、学校の雰囲気は温かく、親しみやすい」と回答した保護者は 88%, 地域については 63%でした。

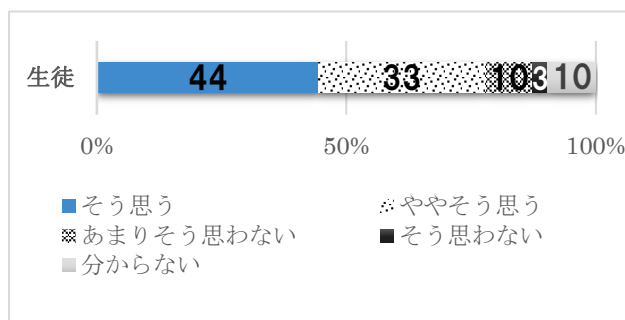
◆質問5-1「普段の授業で、「分かった」「できた」と感じることはどの程度ありますか」

◆質問5-2「各活動（係活動・委員会活動・部活動・行事等）で「分かった」「できた」と感じることはどの程度ありますか」



普段の授業で「分かった」「できた」と感じるものが「毎日」もしくは「週数回程度」とあると回答した生徒は 89%でした。一方、授業以外でそのように感じる生徒は 74%であり、相対的にやや低い結果となっています。

◆質問6「学校ではお互いの個性・特性や考え方の違いなどを尊重し合う雰囲気があると感じる」



学校において「お互いの個性・特性や考え方の違いなどを尊重し合う雰囲気がある」と感じている生徒は 77%でした。

* * * *

「到達目標」「重点目標」ともに一定程度達成できていると考えられますが、「目標に向かってチャレンジする生徒」の育成に一層努めるなど、今回の結果をもとに、今後も魅力ある学校づくりを推進してまいります。

◆質問7「他の学校にはない折中の良さ（誇れるところ）は何だと思いますか」（自由記述）

(生徒)

- ・行事や部活動など何にでも積極的に取り組む。
- ・性別や先輩後輩の関係なしに皆仲が良い。生徒と先生と地域の距離も近い。
- ・元気と明るさ、活発な挨拶。
- ・チャイムがないので時計を見て行動できる。
- ・折中ならではのソーラン隊、太鼓隊、OSP、考動議会などの伝統がある。また地域イベントでボランティアも貢献している。
- ・個性豊かでお互いに認め合っている。
- ・校長先生が毎朝校門の前で挨拶をして学校を活気付けてくれる。

(保護者)

- ・美術がさかんなところ。
- ・明るく元気で素直な子がたくさんいる。
- ・男女ともにみんな仲が良いところや地域イベントなどにも積極的に参加してくれるところ。
- ・少人数という事もあり、教職員、学年問わず目が行き届いているところ。子どもが上学年に対して萎縮ではなく尊敬の気持ちを持っている。
- ・学校を訪れた際、すれ違う生徒の多くが元気よく挨拶してくれるのが素敵だと思う。
- ・学校行事(生徒会や文化祭、縦割り活動等)への取組や地域イベントへの参加が積極的。
- ・先生方が子供によく声をかけたり、ほめたり、向き合ってください。先生方と生徒の距離感もよく相談しやすい。

(地域)

- ・校内に生徒のすばらしい絵や作品が溢れている。
- ・市民センターや地域と連携し地域行事の企画をする等ボランティア活動に力を入れている。
- ・イベント（ふれあいまつり等）への参加・協力が積極的で、地域へのつながりが強く感じられる。生徒と地域住民との距離が近く見える。
- ・折中ソーラン隊や折中太鼓隊を、生徒が自発的に継承している。
- ・男女の仲が良くアットホームなところ。
- ・物事に対して最後までやり遂げている。

◆質問8「その他の意見」（自由記述）

(生徒)

- ・生徒会執行部をもっと活発にしていきたい。

- ・他学年・他クラスの人たちとの関わりをもっと増やした方が良い。
- ・折中はチャイムがないが、時計を見て2分前着席をしているのは学級委員や一部の人だけ。学級委員が呼び掛けをしなくてもいいようにチャイムを鳴らしてほしい。
- ・先生の無駄話で全然進まない授業がある。
- ・エアコンの取扱いが先生ごとに違うので温度設定を教えてほしい。

(保護者)

- ・授業で復習（小テスト形式など）を繰り返してほしい。
- ・来校時の雰囲気がとても良いので子どもを安心して登校させている。他の保護者の方も協力的で役員や行事活動もスムーズにできた。
- ・もっと保護者が関わったり、以前のように行事を参観したい。他校はもっと参観できるのに折中はあまりにも制限が多く残念。
- ・前例がないことにも挑戦していく姿勢を子どもたちに見せてほしい。
- ・コロナ以降、地域で挨拶しても返事が返ってこないことが多くなったが折中生は頭を下げてくれたり挨拶してくれたりするのでうれしい。

(地域)

- ・コロナの影響のためか生徒と触れ合う機会は少なかったが、折立ふれあいまつりなどでは当日のボランティア活動やステージ発表が見事で、力強さを感じた。地域での活動を今後も続けることで、地域から認められ、褒められ、自己有用感を持ちながらたくましく育ってほしい。
- ・折中生のステージ発表はたいへん楽しく素晴らしいものであった。地域に対する前向きな姿は地域からの厚い信頼を得ることになり、地域からの支援を得ることにもつながっていく。
- ・今後も学校と地域双方が Win-Win の関係づくりに取り組んでいければと思う。
- ・子供が変わると地域が変わる。折立地区の実践はまさにこのことを地で行っている。子供、保護者、地域、学校が三位一体となり、今後も一層折立地区を発展させていくことを願う。
- ・コロナが5類に移行したこともあり、小中連携を更に充実させていけると良い。生徒一人一人はとても素直な子供たちなので、縦のつながりを作ることによって更に良い面が発揮できる

と思う。不登校又は不登校傾向にある生徒への有効的な対策について更に検討、実践していく必要があると感じる。

- ・コロナが緩和されてきたので、少しずつ地域の方々や施設などで全てが加わることができる行事を行い、生徒を中心に地域の強みを更に強化していけると良いと思う。
- ・「ふれあいまつり」「ライトアート in 折立」での中学生の積極的な参加に地域の方々は大いに感謝している。先生方、PTAの方々の協力にも感謝している。
- ・市民センター事業に対しまして、御協力いただきありがとうございます。Z世代プロジェクトに来てくれている中学生は男女仲良く、協力してやり遂げてもらい感謝している。地域の方々も中学生の活躍を頼もしく思っている。
- ・いつも温かく子供たちを見守っていただき、ありがとうございます。意外と外で中学生を見かけることはあっても、話したり対面したりする機会は私自身は少ないのだと改めて感じた。
- ・年頃になり、大人や先生方との関係も小学校の時よりも難しく、反抗などもあるため、対応に苦慮することもたくさんある。しかし、家庭や地域で少しでも声掛け等をしていくことが大切なのだと痛感している。
- ・地域の行事に積極的に参加しているお話をよく聞く。すばらしい！！
- ・ふれあいまつりで行われた「ソーラン隊」「太鼓隊」の演技はすばらしかった。しっかりと練習を行っていたのだと感心した。自宅周辺で中学生に会う機会が少なくなっているためアンケートに記載しづらい面もあった。
- ・アンケート用紙をいただいて、改めて折立中のことや子供たちのことを理解できていないと痛感した。コロナ禍により近隣校同士の交流がなくなってしまったのかもしれないが小中学校間の交流について再度検討していきたい。

* * * * *

コロナ禍収束後の学校行事のあり方や学校と地域の関係性等について多くの貴重な御意見をいただきました。これらの御意見を参考にしながら令和6年度の学校運営を進めてまいりますので、引き続き御理解と御支援を賜りますようお願いいたします。